



六桜花

やさしく かしく たくましく
～未来を創造的に生きる力の育成～

有田市立
初島小学校
(校長室だより)

R7・9・17

No.39

教育講演会

トーク&ピアノ弾き語り

演題

「自分も他人も大切に生きる生き方」
～共生社会の実現をめざして～

2025

10/28 (火)

| 開演 | 14:00

初島小学校 体育館



主催：初島小学校 お問い合わせ先：82-2467



講師 上前 喜彦 氏

25歳で急性リンパ性白血病を発症
自身の闘病について、血液が変化したこと、お世話になった方々のこと、
病気を乗り越えていった考え方や生
き方についてお話いただきます。

10月28日(火) 授業参観後14:00より教育講演会を開催します。講師は上前喜彦様をお願いしております。ご自身の経験から「自分も他人も大切に生きる生き方～共生社会の実現をめざして～」という演題でお話いただきます。また、ピアノの弾き語りを交えながらのお話ですので楽しんでいただきたいと思います。ぜひ、講演会に残って聴いていただきたいです。

2学期は3～6年の総合的な学習の時間で【人権・共生社会】について学んでいます。保護者・地域の皆様とともに考えていくテーマですので、よろしくお願いします。

“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力(未来を創造的に生きる力)を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現をめざしています。



【琉球新聞記事より】

野球のU-18ワールドカップで、連覇を目指しながらも決勝で惜しくもアメリカに敗れた日本。敗北直後のある行動が、観客の心を打った。

最終回、二死走者なしから七番横山悠の打球はライトへのフライ。これをアメリカのライトががっちりつつかんでガッツポーズ。アメリカはグラブを高く放り投げた投手をはじめ、ベンチからも選手が飛び出し、ペットボトルに入った水を掛け合い優勝を思い切り喜んだ。

一次、二次リーグを負けなしの8連勝で決勝に進み、連覇まであと一步と迫りながらも敗れた日本ナイン。敗戦に悔しそうな表情を浮かべながらも、整然とアメリカの選手たちと握手を交わし終えた後、主将の阿部葉太選手(横浜)をはじめ数人が、グラウンドに転がったペットボトルを拾った。

大会前、相手に対するリスペクト(敬意)と同時に、高校野球の三つの「F」として「フェアプレー、フレンドシップ(友情)、ファイティングスピリット(闘志)」の重要性を話していた小倉全由監督は、試合後に「正直、自分があの(選手たちの)立場だったらできたかどうか。選手たちは偉いと思う」とたたえた。

“やさしく かしく たくましく”

本校の教育目標の実現に向けて、学校と社会が連携・協働しながら、球児たちのように、自らの意思で、主体的に【良い行動】ができる人になるよう育てたいです。